

2014年3月期第2四半期累計期間 決算説明資料

2013年11月14日

株式会社日本製鋼所

代表取締役社長 佐藤 育男

ご注意

- ・ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

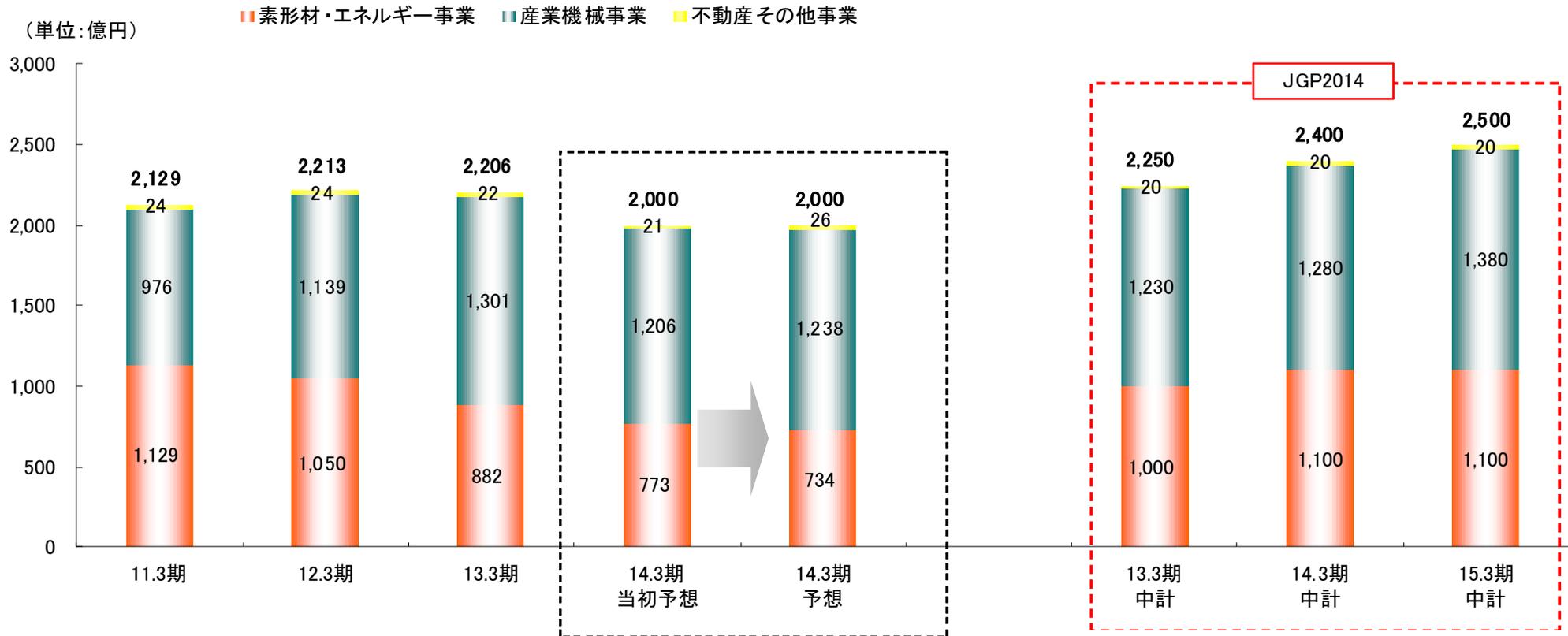
目次

- P2 目次
- P3 事業部門の構成と製品
- P4 11.3期から14.3期の売上高推移
- P5 11.3期から14.3期の営業利益・当期純利益推移
- P6 11.3期から14.3期の受注高推移
- P7 (1) 決算概要
- P8 (2) 営業利益変動要因分析
- P9 (3) セグメント別売上高・営業利益・受注高の状況
- P10 (4) 素形材・エネルギー事業:主要製品別【売上高・営業利益・受注高】
- P11 (5) 産業機械事業:主要製品別【売上高・営業利益・受注高】
- P12 (6) 受注残高の状況
- P13 (7) 財務体質の状況
- P14 おわりに
- P16 参考資料

事業部門の構成と製品

事業セグメント	素形材・エネルギー事業		産業機械事業		不動産 その他事業					
製品事業部	鉄鋼事業部		産業機械事業部	特機本部						
生産拠点	室蘭製作所 		広島製作所  横浜製作所 							
製品	<p>【鍛造鋼製品】 ○重力・原子力</p>  <p>○その他 ・製鉄用鉄鋼ロール ・金型用鋼</p> <p>【鋼板・鉄構製品】 ○石油精製用圧力容器</p>  <p>○クラッド鋼板・鋼管</p>  <p>【風力発電機器】</p> 		<p>【樹脂機械】 ○樹脂製造・加工機械</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造粒機 ・フィルムシート装置 ・二軸混練押出機 (TEX)  <p>○成形機</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック射出成形機 ・中空成形機  <p>【その他機械】 ○軽合金射出成形機</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マグネシウム合金射出成形機 ・アルミダイカスト機  <p>○防衛関連機器</p> <p>○圧縮機</p> <p>○IT関連機器 (レーザアニール装置等)</p> 		○社有地 有効活用					
市場	電力・鉄鋼		石油・天然ガス	自然エネルギー	石油化学	産業機械	自動車	IT	防衛	不動産賃貸

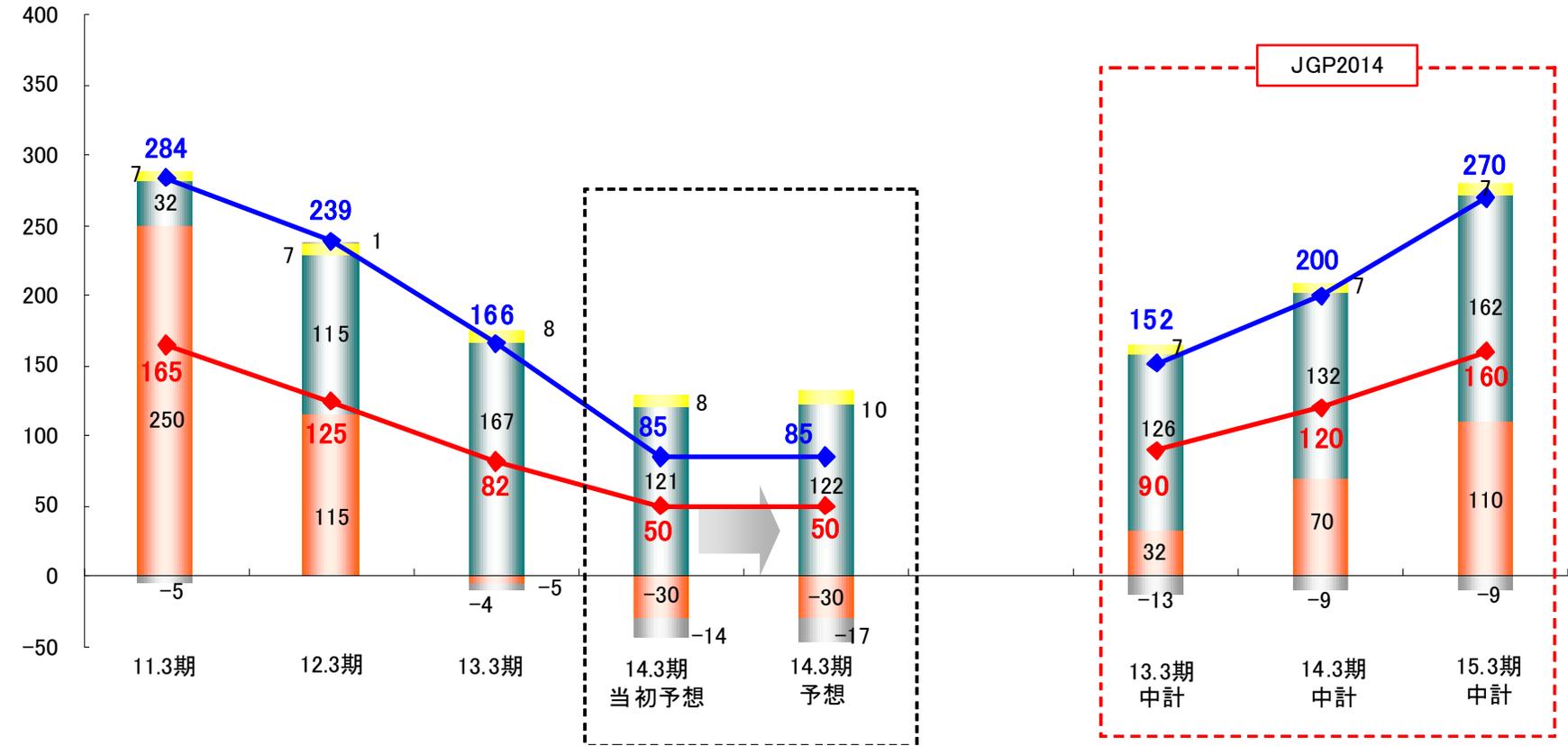
11.3期から14.3期の売上高推移



11.3期から14.3期の営業利益・当期純利益推移

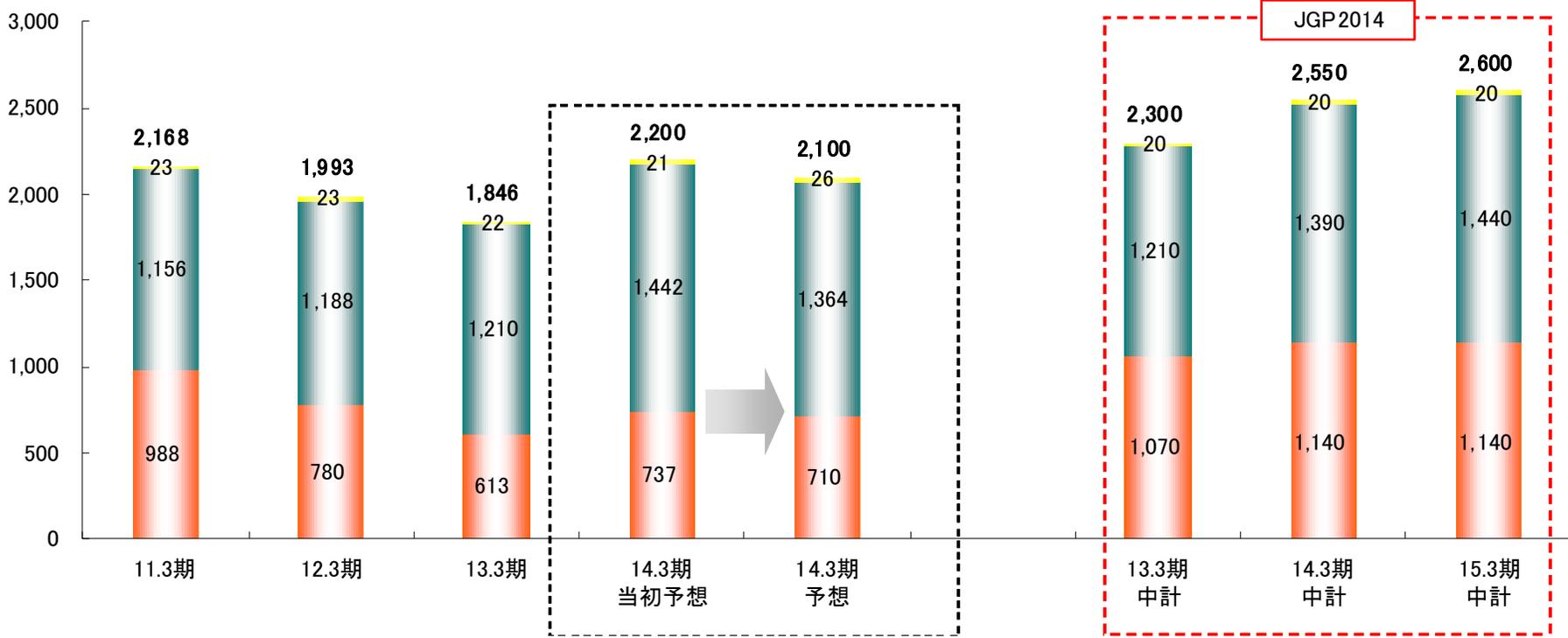
- 素形材・エネルギー事業
- 産業機械事業
- 不動産その他事業
- 調整額
- ◆ 営業利益
- ◆ 当期純利益

(単位: 億円)



11.3期から14.3期の受注高推移

(単位:億円) ■ 素形材・エネルギー事業 ■ 産業機械事業 ■ 不動産その他事業



(1) 決算概要

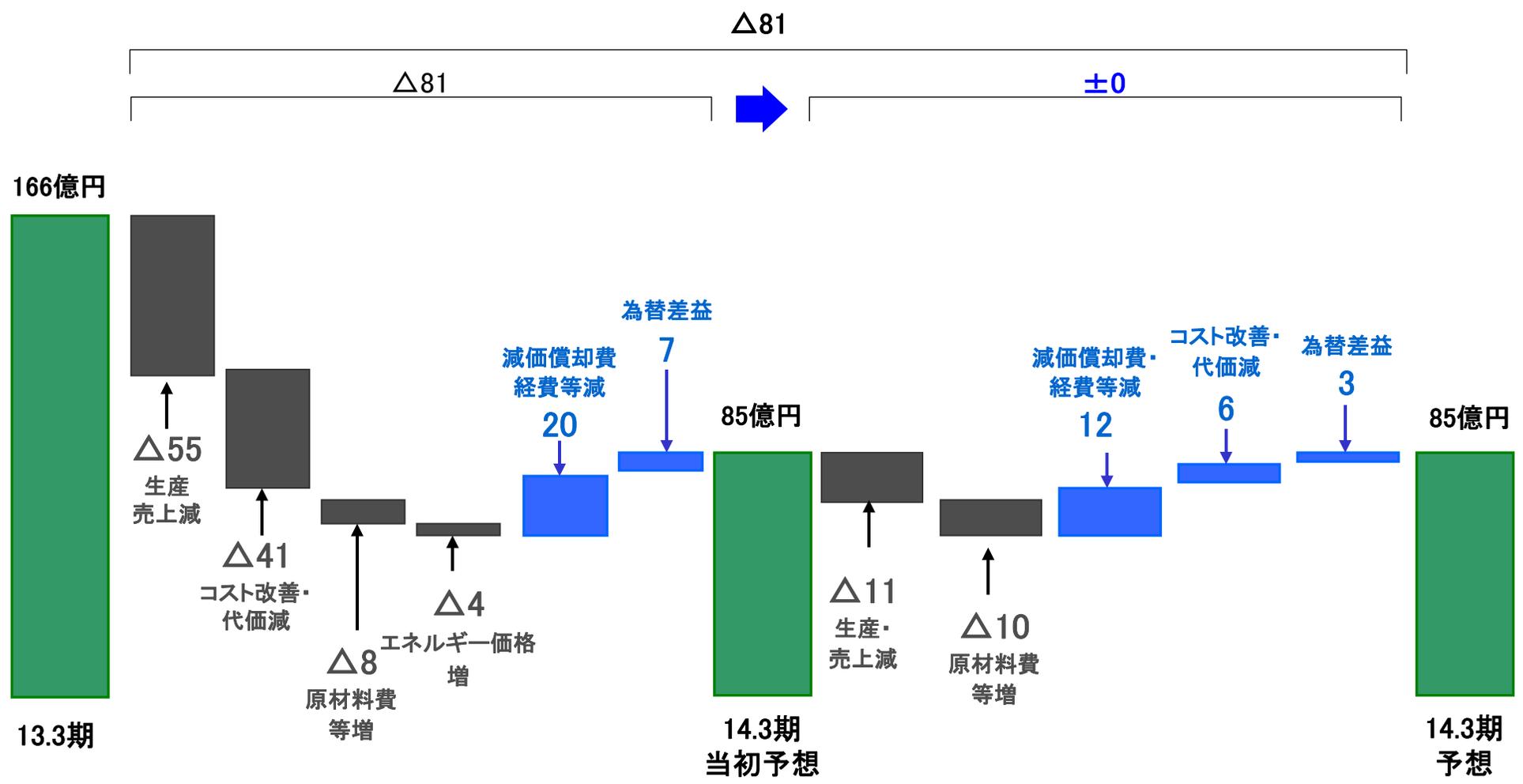
《中間期》

《通期》

(単位:億円)

	13.3期	14.3期			13.3期	14.3期		
		当初予想 (A)	実績 (B)	当初比 (B)-(A)		当初予想 (C)	予想 (D)	当初比 (D)-(C)
受注高	881	965	898	△ 67	1,846	2,200	2,100	△ 100
売上高	1,075	880	844	△ 36	2,206	2,000	2,000	0
営業利益 (率)	81 7.5%	20 2.3%	23 2.7%	3	166 7.5%	85 4.3%	85 4.3%	0
経常利益	83	20	29	9	171	86	86	0
純利益	28	10	17	7	82	50	50	0
1株当たり 純利益(円)	7.61	2.70	4.80	2.10	22.33	13.48	13.48	0.00
1株当たり 配当金(円)	5.0	2.5	2.5	0.0	10.0	5.0	5.0	0.0

(2) 営業利益変動要因分析



(3) セグメント別売上高・営業利益・受注高の状況

《中間期》

《通期》

素形材・エネルギー事業

(単位:億円)

	13.3期 (A)	14.3期	
		実績 (B)	前年比 (B)-(A)
受注高	229	310	81
売上高	445	260	△ 185
営業利益 (率)	△ 6 -1.3%	△ 39 -15.0%	△ 33

13.3期 (C)	14.3期			
	当初予想 (D)	予想 (E)	前年比 (E)-(C)	当初比 (E)-(D)
613	737	710	97	△ 27
882	773	734	△ 148	△ 39
△ 5 -0.6%	△ 30 -3.9%	△ 30 -4.1%	△ 25	0

産業機械事業

	13.3期 (A)	14.3期	
		実績 (B)	前年比 (B)-(A)
受注高	640	571	△ 69
売上高	618	567	△ 51
営業利益 (率)	86 13.9%	63 11.1%	△ 23

13.3期 (C)	14.3期			
	当初予想 (D)	予想 (E)	前年比 (E)-(C)	当初比 (E)-(D)
1,210	1,442	1,364	154	△ 78
1,301	1,206	1,238	△ 63	32
167 12.8%	121 10.0%	122 9.9%	△ 45	1

(4) 素形材・エネルギー事業：主要製品別【売上高・営業利益・受注高】

売上高・営業利益

(単位：億円)

受注高

(単位：億円)

	14.3期 中間実績	13.3期 通期実績 (A)	14.3期通期			
			当初予想 (B)	予想 (C)	前年比 (C)-(A)	当初比 (C)-(B)
電力・原子力	100	374	276	261	△ 113	△ 15
石油精製用圧力容器	5	43	50	43	0	△ 7
クラッド鋼板・鋼管	67	293	262	273	△ 20	11
風力発電機器	7	11	26	19	8	△ 7
その他	56	123	94	77	△ 46	△ 17
連結会社他	25	38	65	61	23	△ 4
合計	260	882	773	734	△ 148	△ 39
営業利益	△ 39	△ 5	△ 30	△ 30	△ 25	0

	14.3期 中間実績	13.3期 通期実績 (D)	14.3期通期			
			当初予想 (E)	予想 (F)	前年比 (F)-(D)	当初比 (F)-(E)
	84	183	300	277	94	△ 23
	40	37	50	53	16	3
	140	200	206	208	8	2
	△ 2	80	47	31	△ 49	△ 16
	22	75	70	79	4	9
	26	38	64	62	24	△ 2
合計	310	613	737	710	97	△ 27

(5) 産業機械事業：主要製品別【売上高・営業利益・受注高】

売上高・営業利益

(単位:億円)

受注高

(単位:億円)

	14.3期 中間実績	13.3期 通期実績 (A)	14.3期通期			
			当初予想 (B)	予想 (C)	前年比 (C)-(A)	当初比 (C)-(B)
樹脂製造・加工機械 (連結)	134	370	294	315	△ 55	21
成形機 (連結)	243	409	483	500	91	17
その他	155	377	316	312	△ 65	△ 4
連結会社他	35	145	113	111	△ 34	△ 2
合計	567	1,301	1,206	1,238	△ 63	32
営業利益	63	167	121	122	△ 45	1

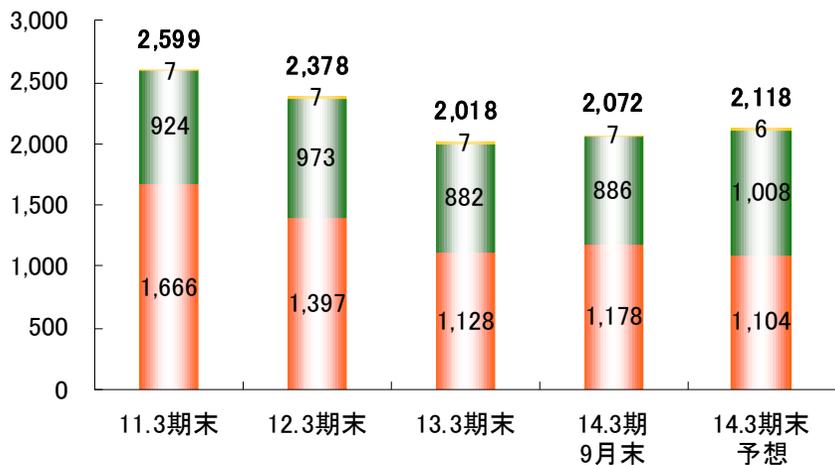
	14.3期 中間実績	13.3期 通期実績 (D)	14.3期通期			
			当初予想 (E)	予想 (F)	前年比 (F)-(D)	当初比 (F)-(E)
	161	282	427	387	105	△ 40
	237	467	488	500	33	12
	138	316	404	369	53	△ 35
	35	145	123	108	△ 37	△ 15
	571	1,210	1,442	1,364	154	△ 78

(6) 受注残高の状況

セグメント別受注残高の推移

(単位:億円)

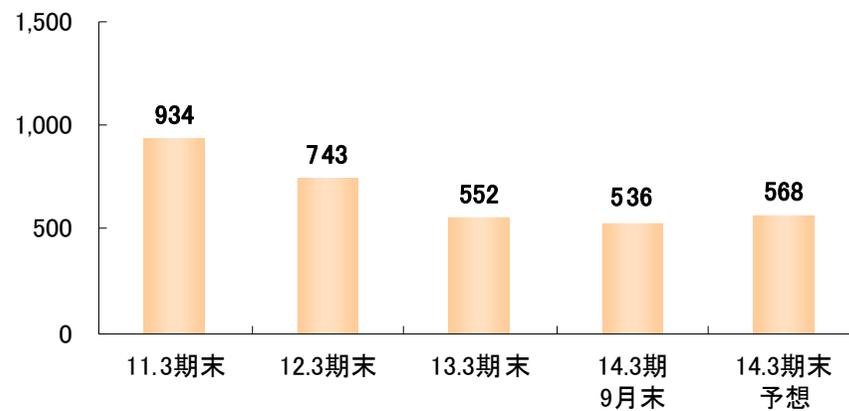
■ 素形材・エネルギー ■ 産業機械 ■ 不動産その他



「電力・原子力」受注残高の推移

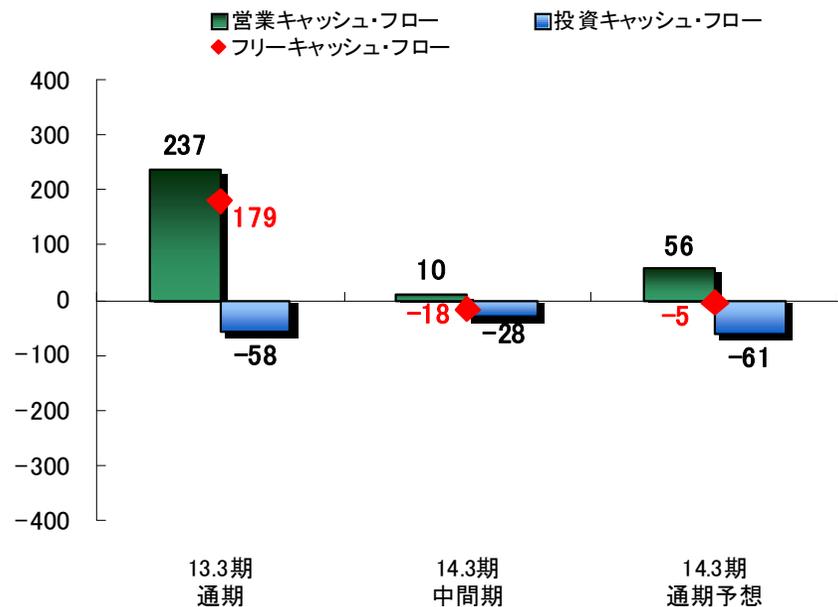
(単位:億円)

■ 電力・原子力

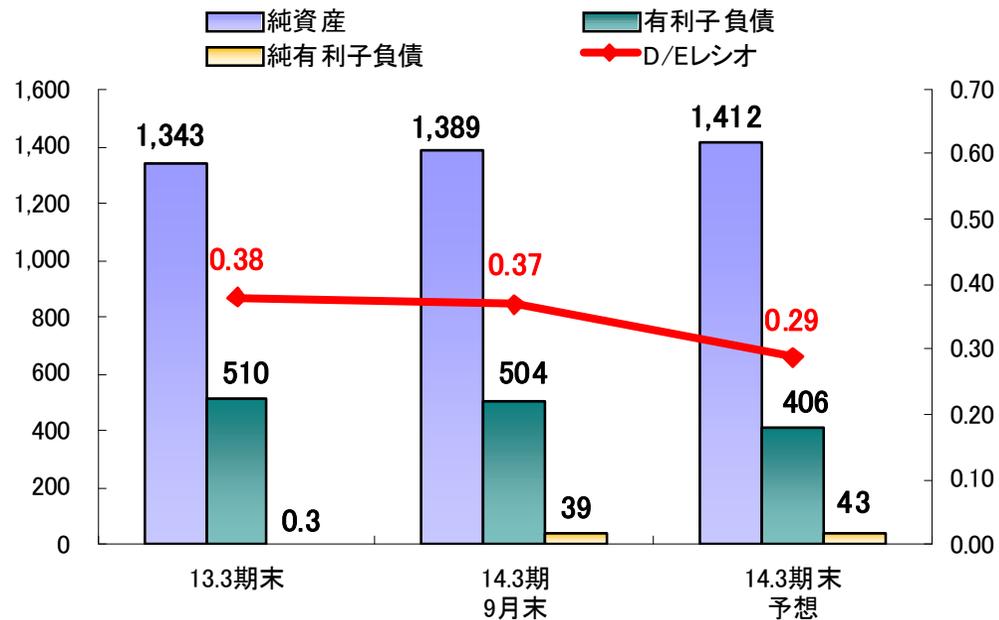


(7) 財務体質の状況

(単位: 億円)



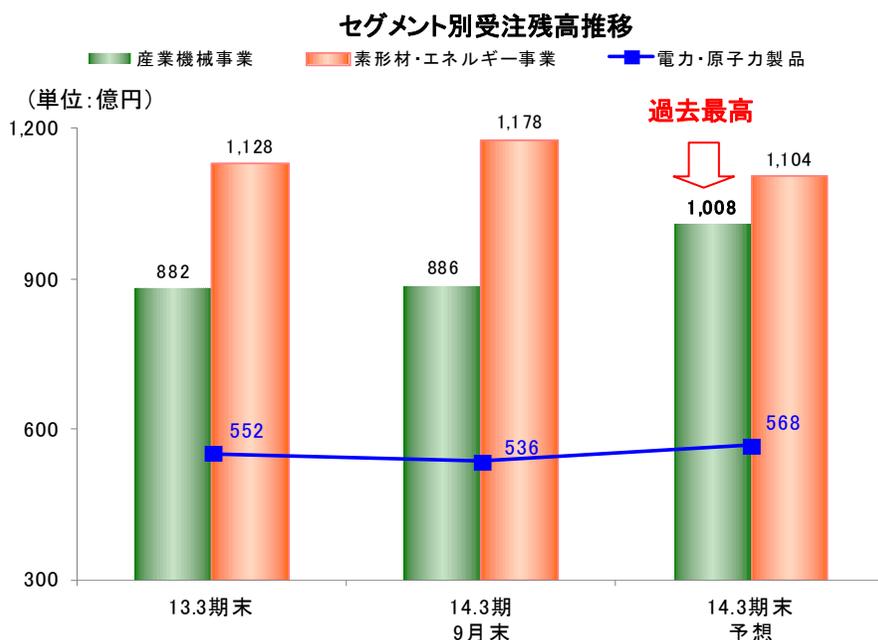
(単位: 億円)



業績は14.3期を底に回復する見通し

15.3期の業績水準は今後の受注の拡大が鍵

プラスサイド



- ①今年度末の受注残高は産業機械事業において過去最高を予想、電力・原子力製品も増加する見通し。
- ②来期の減価償却は素形材・エネルギー事業を中心に20億円減少。
- ③円安効果による粗利の改善。

マイナスサイド

- ①今期の受注高が計画を下回る場合。
- ②特に電力・原子力製品の受注下振れ。
- ③素形材・エネルギー事業の操業量の低下。

当社の取り組み

- ①堅調製品の更なる取り込み。
(素)クラッド鋼板・鋼管
(産)樹脂製造加工機械・射出成形機・その他機械
- ②電力・原子力製品の確実な受注。
- ③為替・需給バランスの変化を捉えて採算の改善。
- ④変動費・固定費の更なる改善。
(ものづくり改革の推進)

10年後を見据え、新たな中期経営計画の策定へ
2015年度を起点とする中期経営計画JGP2017の策定に着手

目標Ⅰ

「利益」・「効率」の向上に加え、
「売上拡大」を図り、規模の追求

グローバル(成長市場)展開の加速

アライアンス推進による
ビジネスモデルの追求

サービス事業の拡大

既存事業の伸長と
新製品・新事業の付加

目標Ⅱ

「資産の効率化」と「高収益化」

「ものづくり改革」推進による
トータルコスト競争力の強化

グループ総合力と
シナジー効果の創出

経営基盤(財務体質・
人材育成・安全文化)の強化

成長力・発展力を有する
「グローバルニッチトップ企業グループ」へ飛躍

参考資料

主要製品別売上高の推移

(単位:億円)

		10.3期	11.3期	12.3期	13.3期	14.3期予想	13.3期中計	14.3期中計	15.3期中計
電力・原子力		458	433	490	374	261	405	460	470
石油精製用圧力容器		250	284	55	43	43	60	80	80
クラッド鋼板・鋼管		182	147	317	293	273	310	250	250
風力発電機器		188	90	39	11	19	15	160	165
その他		70	102	89	123	77	150	90	75
連結会社他		71	73	60	38	61	60	60	60
素形材・エネルギー 計		1,219	1,129	1,050	882	734	1,000	1,100	1,100
樹脂製造・加工機械	連結	222	265	338	370	315	377	416	475
	単体	202	247	313	347	315	351	388	445
成形機	連結	167	320	347	409	500	365	399	435
	単体	133	243	249	261	323	260	285	310
その他		255	232	325	377	312	364	297	310
連結会社他		129	159	127	145	111	124	168	160
産業機械 計		773	976	1,139	1,301	1,238	1,230	1,280	1,380
不動産その他 計		24	24	24	22	26	20	20	20
合計売上高		2,016	2,129	2,213	2,206	2,000	2,250	2,400	2,500

主要製品別受注高の推移

(単位:億円)

		10.3期	11.3期	12.3期	13.3期	14.3期予想	13.3期中計	14.3期中計	15.3期中計
電力・原子力		585	528	299	183	277	415	470	480
石油精製用圧力容器		28	38	49	37	53	90	80	80
クラッド鋼板・鋼管		203	370	228	200	208	220	250	250
風力発電機器		272	△ 109	19	80	31	190	190	190
その他		60	105	111	75	79	95	90	80
連結会社他		85	56	73	38	62	60	60	60
素形材・エネルギー 計		1,233	988	780	613	710	1,070	1,140	1,140
樹脂製造・加工機械	連結	283	336	373	282	387	418	450	472
	単体	267	310	350	258	387	390	420	440
成形機	連結	186	351	362	467	500	385	410	449
	単体	155	273	268	295	305	270	285	312
その他		275	331	287	316	369	295	375	373
連結会社他		97	138	166	145	108	112	155	146
産業機械 計		841	1,156	1,188	1,210	1,364	1,210	1,390	1,440
不動産その他 計		24	23	23	22	26	20	20	20
合計受注高		2,098	2,168	1,993	1,846	2,100	2,300	2,550	2,600

JSW 日本製鋼所
